



## 校章について

人生は平凡であり、人はその中で自分らしく生きる。

大海の一滴にも似た人生ではあるが、自分の目的を立て努力することによって、生き甲斐を見出すのではないか。

私は、新設される南小学校の児童たちが、強く正しく朗らかに、目的に向かって努力し発展させることを願い、その姿を桜に代表させました。

桜は強くたくましい木（賢い木質・強い心）明るい暖かい感じの花。花一つ一つがその立場を守って咲き、木としての桜の存在を価値有らしめていると思います。

図案の桜は、八重咲きを意味するのではなく、互いの美を助長させるため（助け合い）の意を持たせたのです。平凡な花、桜と人の生き様を結んで考えたつもりです。

図案者 佐内静子